ものがたり

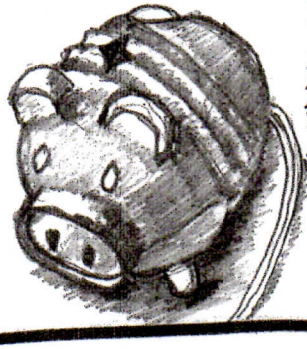
第二百一話

前田酒造
有限会社 前田屋
〒949-3393 新潟県南魚沼市土合3-4-3
TEL 025-780-0003

令和5年9月初旬

みなさん こんにちは
少しは涼しくなりましたでしょうか。今年の稲刈りは暑かったですね！何とか刈取りを迎えた稲もクラクラしながら立っていました。田んぼは良く乾いているので作業はしやすかったようですが、なにしろ暑かった。

先日、久々に蔵の会合がありました。酒蔵の行事でタンクの中の熟成ぐあいを確認する「初呑みのり」にご招待があり、湯沢まで行って来ました。秋の息吹をながめながらと思い新幹線ではなく在来線（上越線、銭行）で1時間十五分の旅。ガタンゴトンのリズムも心地良くメリ取り真最中の黄金色の景色は、まるで絵画のようです。何を言っているかまったくわからない車内アナウンスも味を出しています。あっという間に到着。迎えのバス に乗り会場のホテルへ。



今年はあまり出荷がなかったようです。
蚊取り器もなんだか立派しそう…

長いあいさつや講演会の後、いよいよ「呑みのり」。七〇本以上の瓶がならぶ広間に入るといい香りが漂いタンクから抜き取ったばかりの原酒をスポイトでちょこっと入れ、ぐびっと呑み込みます。本当は吐き出すようですが、私はちゃんと飲んでやります。タンク番号の書かれたリストに感想を書き評価します。五品目位からは、みんな同じ!!ただただうまいだけ！……その後、懇親会。たいへんおいしくいただきました。帰りの電車。うとうとしていると二人の中年の酔っ払いが来ました。私の前にすわると、何やら、あまり良い雰囲気ではなさそう。

「おかったいやー、おいが悪かったいやー」「おー、気を付けれ!!」と大声でないから余計に聞き入ってしまいます。「おれ、次で降りるすけ寝るなー」「のんたいやー早や行げ!」といって一人降りて行きました。その後、一人になった運ちゃんは即爆睡！私が宿に着くまで寝ていました。どこで降りる予定だったのやら……

——以上——

越州 里紅葉（さともみじ）

この時期、各蔵から「ひやおろし」とか「秋あがり」という高めが続々出ます。どちらも同じ意味で冬の間に熟成させ、しぼったら新酒をタンクで寝かせ夏を越します。そして涼しい風がふくころにちょうど良く熟成したころあいを見て瓶詰めします。言ってみれば普通の事なのですがやはり待った熟成した味わいのお酒はおいしいはずです。この季節は食が細りがちな酒に合う食材が揃います。秋の美食と共等な酒は、長い夜をきっと楽しませてくれる事でしょう。

こう「もうがまん」も三百話を越え、話すネタから枯れてきました。が、今後は毎月発行は少し考えながら書こうと思っています。ときどき休むかもしれません、ごめんなさい。

風土が人と酒を育み
酒は人をつなぐ
有 前田屋